



# 始めましょう

## Active IQ Unified Manager

NetApp  
October 15, 2025

# 目次

|  |   |
|--|---|
| 始めましょう .....                           | 1 |
| インストールのクイック スタート手順 (VMware) .....      | 1 |
| システム要件 .....                           | 1 |
| Active IQ Unified Managerのインストール ..... | 1 |
| インストールのクイック スタート手順 (Linux) .....       | 2 |
| システム要件 .....                           | 2 |
| Active IQ Unified Managerのインストール ..... | 2 |
| インストールのクイック スタート手順 (Windows) .....     | 3 |
| システム要件 .....                           | 3 |
| Active IQ Unified Managerのインストール ..... | 4 |

# 始めましょう

## インストールのクイック スタート手順 (VMware)

ダウンロードできます `tar` ルート証明書を含むファイル、`README` ファイルと `OVA` ファイルを作成し、Unified Manager を仮想アプライアンスとして展開します。

### システム要件

- オペレーティング システム: VMware ESXi 8.0
- メモリ: 12 GB
- CPU: 合計9572MHz
- 空きディスク容量: 5 GB (シンプロビジョニング)、152 GB (シックプロビジョニング)

詳細なシステム要件については、"[Unified Managerをインストールするための要件](#)"そして"[Interoperability Matrix](#)"。

## Active IQ Unified Managerのインストール

### インストーラをダウンロードする

1. ダウンロード `tar` ルート証明書を含むファイル、`README` ファイルと `OVA` ファイル。
2. vSphere Clientからアクセス可能なローカルまたはネットワークのディレクトリにファイルを保存します。
3. ダウンロードしたディレクトリで `tar` ファイルに、`tar -xvzf ActiveIQUnifiedManager-<version>.tar.gz` 指示。+ 必要な `OVA` ファイル、ルート証明書、および `README` ファイルはターゲット ディレクトリに解凍されます。

### 整合性を検証する

整合性を検証することができます `OVA` ファイルに記述されている手順に従って `README` ファイル。

### Unified Managerをインストールする

1. vSphere Client で、[ファイル] > [OVF テンプレートのデプロイ] をクリックします。
2. OVA ファイルを検索し、ウィザードを使用してESXiサーバに仮想アプライアンスを導入します。
3. レビューの詳細ページの発行者セクションに、メッセージ `Entrust Code Signing - OVCS2 (Trusted certificate)` ダウンロードしたファイルの整合性を確認します `OVA` ファイル。メッセージについて `Entrust Code Signing - OVCS2 (Invalid certificate)` VMware vCenter Server を 7.0U3E 以降のバージョンにアップグレードします。
4. [Customize Template] ページの [Properties] タブで、実行しているインストールのタイプに必要なフィールドを入力します。
  - 静的な設定の場合、すべてのフィールドに必要な情報を入力します。セカンダリ **DNS** フィールドに情報を追加する必要はありません。

- IPv4を使用するDHCPの場合、すべてのフィールドを空にしてください。
- IPv6を使用するDHCPの場合、[Enable Auto IPv6 addressing]ボックスをオンにします。それ以外のフィールドはすべて空にしてください。

5. VMの電源をオンにします。
6. [Console]タブをクリックして最初のブート プロセスを確認します。
7. タイムゾーンを設定します。
8. Unified Managerメンテナンス ユーザの名前とパスワードを入力します。

インストールが完了すると、Unified Manager Web UIへの接続方法が表示されます。

## インストールのクイック スタート手順 (Linux)

Unified Managerのインストール パッケージをダウンロードして、Red Hat Enterprise Linuxの物理プラットフォームまたは仮想プラットフォームにインストールできます。

### システム要件

- オペレーティング システム: Red Hat Enterprise Linux バージョン 8.x および 9.4 (x86\_64 アーキテクチャに基づく)、OS インストーラの ソフトウェア選択 オプションから「GUI 付きサーバー」ベース環境を使用してインストールされます。
- RAM: 12 GB、CPU: 合計9572 MHz
- 空きディスク容量: 100 GBのディスク容量 /opt/netapp/data`ディレクトリ、ルート パーティションに 50 GB。別途取り付けの場合、`/opt`そして、`/var/log`ディレクトリについては、`/opt 15GB あり、/var/log 16GBあり、/tmp 10 GB の空き容量があります。

詳細なシステム要件と、製品をセキュリティ保護されたサイトにインストールする方法については、"[Unified Managerをインストールするための要件](#)"そして"[Interoperability Matrix](#)"。

### Active IQ Unified Managerのインストール

インストーラをダウンロードする

1. ダウンロード `ActiveIQUnifiedManager-<version>.zip`インストールパッケージとコード署名証明書 (.pem)` とデジタル署名 (.sig)。`
2. インストール ファイルをダウンロードしたフォルダで、次のコマンドを実行します。

```
# unzip ActiveIQUnifiedManager-<version>.zip
```

整合性を検証する

次のコマンドを実行して、インストーラ パッケージの整合性を検証します。

- 走る ``openssl x509 -pubkey -noout -in AIQUM-RHEL-CLIENT-INTER-ROOT.pem > <public_key_file_name>`コード署名証明書の公開キーを含むファイルを作成します。`
- 走る ``openssl dgst -sha256 -verify <public_key_file_name> -signature <signature_file_name>`

ActiveQUnifiedManager-<version>.zip`インストーラー パッケージの署名を検証します。

### リポジトリ設定を確認する

Red Hat Enterprise Linuxのリポジトリの設定手順はサイトによって異なります。使用することができます`pre\_install\_check.sh`インストール パッケージに含まれているスクリプトを使用して、オペレーティング システムの構成を確認します。システムがインターネットに接続されている場合、Red Hat Enterprise Linuxのリポジトリのセットアップ方法が通知されます。

```
# sudo ./pre_install_check.sh
```

### Unified Managerをインストールする

Unified Managerは`yum`ソフトウェアおよび依存ソフトウェアをインストールするためのユーティリティ。Red Hat Enterprise Linuxには複数のイメージがあるため、どのパッケージがインストールされるかはイメージに含まれているソフトウェアによって決まります。その`yum`ユーティリティは、インストールする依存ソフトウェア パッケージを決定します。依存ソフトウェアパッケージに関する詳細情報が必要な場合は、"[Linuxソフトウェアとインストールの要件](#)"。

Unified Managerをインストールするには、rootユーザーとして、または`sudo`インストール ファイルを解凍したディレクトリから:

```
# yum install netapp-um<version>.x86_64.rpm
```

または

```
% sudo yum install netapp-um<version>.x86_64.rpm
```

インストールが完了すると、Unified Manager Web UIへの接続方法が表示されます。ウェブUIに接続できない場合は、`README`ポート 443 の制限に関する詳細については、ソフトウェアに同梱されているファイルを参照してください。

## インストールのクイック スタート手順 (Windows)

インストール パッケージをダウンロードしてUnified Managerをインストールすることで、データ ストレージの容量、可用性、パフォーマンス、保護の問題を監視してトラブルシューティングすることができます。

### システム要件

- オペレーティング システム
  - Microsoft Windows Server 2019 Standard EditionおよびDatacenter Edition
  - Microsoft Windows Server 2022 Standard EditionおよびDatacenter Edition

Unified Managerは、64ビットWindowsオペレーティング システムの次の言語版に対応しています。

- 英語
- 日本語
- 簡体字中国語

- メモリ: 12 GB
- CPU: 合計9572MHz
- 空きディスク スペース: 100GB (インストール ディレクトリ用)、50GB (MySQLデータ ディレクトリ用)

詳細なシステム要件については、"[Unified Managerをインストールするための要件](#)"そして"[Interoperability Matrix](#)"。

## Active IQ Unified Managerのインストール

インストーラをダウンロードする

1. ダウンロード `ActiveIQUnifiedManager-<version>.exe`インストール パッケージ。
2. インストール ファイルをターゲット システム上のディレクトリにコピーします。

### Unified Managerをインストールする

Unified Managerをインストールするためには、Microsoft .NET 4.5.2以降がインストールされている必要があります。Unified Managerのインストール時には、このほかにもいくつかの他社製パッケージが必要に応じてインストールされます。依存ソフトウェアパッケージの詳細については、"[Windowsソフトウェアとインストールの要件](#)"。

1. デフォルトのローカル管理者アカウントでWindowsにログインします。
2. インストール ファイルをダウンロードしたディレクトリで、Unified Manager実行可能ファイル (.exe) を管理者権限で実行します。
3. 画面の指示に従ってユーザ名とパスワードを入力し、Unified Managerメンテナンス ユーザを作成します。
4. [データベース接続]ウィザードで、MySQLのrootパスワードを入力します。
5. 画面の指示に従ってインストールを完了します。
6. インストールの最後に「完了」をクリックすると、Unified Manager Web UI が表示されます。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。